議会開会中

第3回定例会

主な議案のあらまし

令和2年第3回定例会は、9月4日から16日までの13日間の日程で開催しました。

本定例会では、令和2年度補正予算、条例改正などの審議のほか、令和元年度各会計決算について市長から決算大綱説明が行われ、決算審査特別委員会で審査を行いました。また、市政について13人の議員が一般質問を行いました。

◎令和元年度各会計決算

決算審査特別委員会で慎重な審査を行い、各会計決算8件を本会議において認定しました。

決算額は、一般会計が歳入213億9、561万円に対し、歳出205億7、176万円で、差し引き8億2、385万円の剰余となりました。

国民健康保険特別会計は、歳入46億1、033万円に対し、歳出45億1、900万円で、差し引き9、133万円の剰余となりました。公営住宅事業特別会計は、歳入

8億6、884万円に対し、歳出

8億738万円で、差し引き6、

146万円の剰余、介護保険特別

会計は、保険事業勘定で、歳入39

億2、247万円に対し、歳出37

億7、121万円で、差し引き1

億5、126万円の剰余、介護サー

ビス事業勘定で、歳入9、412

万円に対し、歳出6、814万円

で、差し引き2、598万円の剰

余、後期高齢者医療特別会計は、

歳入6億1、353万円に対し、歳

出6億1、247万円で、差し引

き106万円の剰余となりました。

また、土地区画整理事業特別会

計は、歳入7、360万円に対し、

歳出7、360万円で歳入歳出同

額となりました。

下水道事業会計の収益的収支は、

事業収益13億6万円に対し、事業

費用12億4、587万円で、5、

419万円の純利益、資本的収支は、収入8億7、842万円に対し、支出13億1、739万円で、差し引き不足額4億3、897万円となり、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金、減債積立金、当年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

病院事業会計の収益的収支は、事業収益63億7、415万円に対し、事業費用は69億9、250万円で、6億1、835万円の純損失、資本的収支は、収入1億1、090円に対し、支出5億7、348万円で、差し引き不足額4億6、258万円となり、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額、当年度分損益勘定留保資金で補てんし、なお不足する額は一時借入金で措置しました。

◎一般会計補正予算(第8号)

一般会計は、補正予算第8号により3、255万円を増額補正し、総額274億1、832万4千円となりました。

補正予算に計上された主な事業費等は、戸籍情報連携システムおよび住民基本台帳システムをマイ

ナンバーにより情報連携するため
に改修する経費852万5千円、
厚生労働省の地域介護・福祉空間
整備等施設整備交付金を受けて行
う地域介護・福祉空間整備等施設
整備補助金を交付するための経費
および北海道の介護サービス提供
基盤等整備事業費交付金を受けて
行う介護サービス提供基盤等整備
事業費補助金を交付するための経
費794万円、予防接種法施行令
等の一部改正に伴うロタウイルス
ワクチンの定期予防接種を実施す
るための経費394万2千円、寄
付者の意向により図書館の図書を
購入するための経費151万1千
円、旧二の坂保育所の廃止に伴う
備品等の整理および屋外遊具撤去
等を行うための経費209万3千
円、令和元年度国庫補助金等の事
業費の確定などに伴う返還のため
の経費1、877万4千円など
です。

◎条例の改正等

滝川市産業振興部の公の施設の
指定管理者の指定に係る管理期間
の特例に関する条例など5件の条
例制定・改正を原案どおり可決し
ました。